

本県教育目標

- ・一人一人の能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる

茨城県学校教育指導方針

一人一人が輝く活力ある学校づくり
～変化に対応できる「人財」の育成に向けて～

取手市の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を伸ばし、未来を築く力を養う
- ・じょうぶな身体をつくり、豊かな人間性をつちかう
- ・郷土を愛し、学びを生かし、助け合う心を育てる

【本校教育目標】

笑顔いっぱい高井小
笑顔を作る高井っ子（スマイルクリエイター）
の育成

【組織目標】

一愛（合い）のある学校作りー 楽しく、明るく、元気な学校
（助け合い、協力し合い、励まし合い、挨拶し合い、学び合い）

○ 高井小学校のすべての児童と教職員が「おはようからさよう
ならまで安心して生活できる学校」

- ・主体的で対話的な授業
- ・自己有用感を高める学級経営、特別活動

〈取組の視点〉①授業改善・充実 ②環境改善 ③チーム指導 ④業務改善

めざす児童像

- ・笑顔いっぱいやる気いっぱい真心いっぱいの子ども
- ・みんなで力を合わせる笑顔いっぱいの子ども
- ・あいさつをがんばる真心いっぱいの子ども
- ・できることを一つずつ増やすやる気いっぱいの子ども

めざす教師像

- ・一人一人の子どもを大切に、教育的愛情と豊かな人権感覚を持った教師
- ・研修に努め、日々自己を高める教師
- ・児童、保護者、地域から信頼される教師
- ・あたたかいけれど甘やかさない、厳しいけれど冷たくない教師

【ぐんぐんプラン】確かな学力を育みます

- 1 主体的・対話的・協働的な授業を推進します。
・「高井スタイル」「取手市学びのコンパス」「ICT」を効果的に取り入れた授業の実践
- 2 基礎・基本の定着を図ります。
・個別支援の充実、モジュール学習、ドリル学習等の補充繰り返し学習の実施
- 3 学習の習慣化を図ります。
・基本的学習習慣の確立「高井小学習の決まり」ノート指導の実施
・家庭学習の定着[手引きの指導 学年×10+10分]
【学力診断のためのテスト】県平均正答率+5%以上
【授業分析】協働的な学びでの児童発言90%以上
【アンケート】家庭学習提出率90%以上
【アンケート】授業でのICT活用30%以上

【わくわくプラン】豊かな心を育みます

- 1 道徳教育を推進します。
・道徳授業、コーナーの充実、人権意識の涵養
・人権週間行事を生かした人権感覚の養成
・児童会中心の「あいさつプロジェクト」の推進
- 2 体験活動を積極的に推進します。
・外部機関、GT等の積極的活用と授業実践
- 3 児童一人一人の人権を大切にします。
・チーム指導、教育相談システムによる児童の不安や悩みの解消、いじめの未然防止・早期発見
- 4 読書活動を推進します。
【アンケート】進んであいさつできる児童90%以上
【授業】体験活動全学年1回以上
【いじめ問題調査】いじめ問題解消率100%

【のびのびプラン】健やかな体を育みます

- 1 体力作りを推進します。
・体育授業や業間体育の充実（運動量の確保）
・休み時間での運動の日常化、学級遊びの奨励
- 2 食に関する指導を行います。
・栄養士と連携した食に関する指導の充実
- 3 健康・安全教育を推進します。
・「早寝・早起き・朝ご飯運動」の推進
・歯科検診を生かした歯科保健指導
・手洗い、身体的距離の継続指導
・食物アレルギー対応の共有化
【体力テスト】A+Bの割合60%以上
【朝食摂取率】毎朝朝食を食べている児童85%以上
【むし歯無し（治療完了児童）】80%以上

グループ目標(低学年部)

- ・基本的な学習ルールを身に付けさせ、学び合うことができる児童育成を図る。
- ・自ら働き、友達と仲よく活動できる学年・学級を目指す。

グループ目標(中学年部)

- ・学習習慣を確実に身に付けさせ、主体的・対話的・協働的な授業を行い、基礎学力の定着を図る。
- ・互いの良さを認め合える機会を多く取り入れ、自己有用感を高める。

グループ目標(高学年部)

- ・基礎的・基本的な知識の習得を図り、高井スタイルを生かした主体的・協働的な学びを通して、学力の確実な定着を図る。
- ・互いのよさを認め合える機会を充実させ、規範意識を高めるとともに、望ましい人間関係作りに努める。

グループ目標(特別支援教育部)

- ・一人一人の特性を把握し、個別の支援の充実を図る。(ひとりでもできる)
- ・生活単元と自立活動を通して、自立心と社会性を養う。(みんなとできる)

グループ目標(教務部)

- ・高井スタイルを生かした主体的・協働的な学びを通して、学力の確実な定着を図る。
- ・職員間の連携を密にし、環境整備等に努めることで、学校教育活動の活性化を図る。

地域に開かれた学校づくり

- ・各種たより、HPによる情報発信(学年週1回以上発信) 学校公開の実施
- ・学校評価結果の公表
- ・地域、関係機関、団体と連携した学習活動

保幼小中連携

- ・9年間を見通した指導体制づくり
- ・教員間、児童生徒間の交流の推進
- ・スタートカリキュラムの充実

教員の資質能力向上

- ・支持的風土のある学習、学級作り
- ・児童主体の授業改善の推進
- ・授業研究の協働実施による授業力向上
- ・自己目標を活用した教員評価の充実

働きやすい職場づくり

- ・風通しのよい環境づくりの推進
- ・学年、校務分掌での協働による同僚性の構築、業務の共有化・効率化
- ・ボトムアップ型の働き方改革の実施